

令和5年度「小論文（教育学部学校教育課程Ⅰ類）」【出題意図】

1

問1 二つの文章を読み比べることで、定義の異なる二つの用語について、その違いを論理的に説明する能力を評価する。

問2 複数の資料から解決すべき課題を導出した上で、導出した課題に対する解決策を学校教育の視点から考え、論理的に説明する能力を問う。

【出典】

課題文

辻大介「「ネットは社会を分断しない」？ ―― 楽観論を反駁する」<https://synodos.jp/opinion/society/23400/>

資料1

笹原和俊「ウェブの功罪」『情報の科学と技術』70-6, 309-314, 2020

資料2

保高隆之「情報過多時代の人々のメディア選択」『放送と調査』68-12, 20-45, 2018

資料3

総務省情報通信政策研究所「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」2021

https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html

2

問1 二つの文章を的確に読み解き、それらの文章に記述されている内容を、問題の求めに応じて説明する能力を評価する。

問2 三つの文章から読み取った内容を整理し、資源、環境、食料と世界人口に及ぼす影響を論理的に説明する能力を評価する。

【出典】

㉠ 古館恒介『エネルギーをめぐる旅』英治出版, 2021年

㉡ 佐藤洋一郎『食の人類史』中央公論新社, 2016年

㉢ 「農業の未来へのヒント――千葉大学名誉教授古在豊樹氏（あすへの話題）」『日本経済新聞』2011年11月24日

設問 A

問1 与えられた地震波の性質に関する情報を基に、震源からの距離と震度との関係について論理的に説明する力を評価する。

問2 与えられた地震波の性質や緊急地震速報の仕組みに関する情報を基に、緊急地震速報の報知時刻と大きなゆれの発生時刻との間の時間差について論理的に説明する力を評価する。

問3 問1、問2を踏まえて、震源と人の居住地域との位置関係を考慮しながら、緊急地震速報の減災への有効性について考察し、論理的に説明する力を評価する。

設問 B

問1 与えられたプランの特徴を的確に読み取り、ある主張の真偽について、式や表、グラフなどを用いながら説明する力を評価する。

問2 前提となる A プランを問題条件と整合するように変更し、その論拠と妥当性を式や表、グラフなどを用いながら説明する力を評価する。

問3 問題条件に合う新たな C プランを提案し、その特徴を式や表、グラフなどを用いながら論理的に説明する力を評価する。